

第8回 星陽・三木中学校区統合準備委員会 議事録（要旨）

日 時： 令和4年3月14日(月) 午後7時～午後7時45分

場 所： 中央公民館

出席者：

構 成 員 藤平昌秀 常深嘉一 岩崎雅彦 常深裕史 井岡誠
岸井善信 藤本泰徳 枚田玲奈 福田千秋 三宅明美
中西千津江 岩崎誠司 計倉哲也 小林俊治 生田淳仁
河原正則 大塚康生 善村龍昭 実井三枝 横山康文
小紫達矢

事 務 局 大北由美教育長 本岡忠明教育総務部長
横田浩一教育振興部長 仲谷淳教育施設課長
田中智美学校教育課長 鍋島健一学校再編室長
武内克朗学校再編室副室長 山本智康学校再編室主査
河賀健太郎学校再編室主査

1 開会

(委員長)

委員の皆様、ご参集していただき感謝申し上げます。

審議に先立ち、本日は、委員の過半数が出席されているので、本日の会議が成立していることを報告する。

次に、本委員会の会議は原則として公開とすることとしているが、個人に関する情報を取り扱う場合など、協議する案件によっては非公開とすることができることとなっている。本日、非公開事項に該当する内容があればお知らせいただきたいと思うが、皆様いかがか。

【非公開該当事項なし】

それでは、本日の会議については、公開として開催する。

次に、本日の会議の進め方について説明する。

まず、部会長から部会での協議内容をご報告いただく。

そして、部会長からの報告を受けて、質疑応答の時間を設ける。委員の皆様には、様々な視点からご質問いただければと考える。

以上の流れを、部会ごとに行いたいと思う。

また、新型コロナウイルス感染症対策の1つとして、会議中の換気及び1時間以内の会議をめざす。

2 事務局からの報告事項

(事務局)

これまでに発行した「統合準備委員会だより」において、「報告事項」及び「承認事項」、「市教育委員会への提案事項」として記載した事項の取り扱いについて説明する。

各部会からの「報告事項」として記載された事項については、統合準備委員会で確認され、決定した事項として統合に向け準備を進めてきている。

ただし、部活動のあり方、始業時刻・完全下校時刻等については、学校管理運営事項となり、学校と市教育委員会とで協議のうえ、学校より周知していくこととする。

続いて、「承認事項」及び「市教育委員会への提案事項」として記載した事項については、統合準備委員会からの提案内容を勘案し、「統合校の名称」及び「統合校の校歌」、「統合校の校章」を手元に配布している統合準備だより No.7 のとおり決定した。

また、統合準備委員会だより No.7 に記載された、スクールバスについて統合準備委員会より提案されていた提案事項①～⑩について、決定事項として扱う。

閉校後の学校利活用については、市の「廃校利活用検討委員会」で検討している。星陽中学校は、2次避難所に指定されおり、跡地の利活用の方針が決まるまでは、避難所としての機能を維持する。

(委員長)

意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【質問等なし】

3 各部会からの報告及び協議

(1) 総務部会

(部会長)

長きに渡り、委員の皆様には星陽中学校の統合・閉校に関わっていただき、誠に感謝申し上げます。

総務部会としては、早い段階で校名・校歌・校章等について委員の皆様のご承認をいただき、先程の事務局からの説明のとおり決定した。

閉校に関わることについては、星陽中学校主体で進めてきており、以下3点報告する。

1点目、コロナウイルス感染拡大の可能性のあることを踏まえ、令和3年10月より、放課後及び休日に地域からの母校訪問者を受け入れてきた。12月26日には60人以上の方が来校され、1月30日現在で延べ150人、3月5日（土）にも来校を受け入れてきた。

2点目、閉校式典については令和4年2月27日（日）、「参加者の限定」、「第2部に予定していた校内ウォークラリーの中止」、「式典の様子のリモート配信」等、感染症対策を講じながら、規模を縮小して開催した。生徒、保護者、閉校準備委員、地域の方々、来賓（市長、教育長）等、約140名の参加があった。無事執り行うことができた。多数のご協力に感謝申し上げます。

3点目、閉校記念として、「記念誌」「記念DVD」「記念クリアファイル」「記念定規」を作成した。「記念クリアファイル」については星陽中学校区全戸に送付した。

残り2週間となり名残惜しい時ではあるが、2日後には最後の卒業式、3月22日には立春式、24日には終業式、25日には引越し、と無事終えることができるよう進めていく。

（委員長）

意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【質問等なし】

（委員長）

それでは、引き続きPTA部会の報告をお願いします。

(2) PTA部会

（部会長）

PTA部会の開催状況を報告する。

第11回（最終回）を2月中旬に書面にて開催した。統合後の三木中学校PTA本部への引継ぎ資料「三木中学校PTA運営体制について」を作成した。この資料の完成をもってPTA部会の終了とした。

次に、この2年間のPTA部会の活動について報告する。

1、開催状況については、書面開催1回を含め全11回開催し、開催場所は、三木中学校、星陽中学校、中央公民館で行った。

2、活動内容について3点報告する。

- (1) PTA 会則、組織等の改正において、「統合を機に両中学校の良い所を取り入れながらも、時代に即した内容に改正する」及び「PTA 組織の軸はしっかりと残しつつも、時代の変化に対応しやすいようファジーな面も残す」を改正のコンセプトとした。

主な改正点は、「PTA 会則の全面的な改正」と「PTA 組織の簡素化」である。部会では「PTA 会則の全面的な改正」に大部分の時間を費やした。

「PTA 組織の簡素化」については、各役員の活動内容と必要人数を見直し、組織の簡素化に努めた。具体的には PTA 本部体制の見直し、学級委員等の廃止、地区委員・専門部員数の見直し、星陽中学校区の地区委員のグループ化等である。

- (2) PTA 臨時総会の実施について報告する。

令和3年10月末に両中学校にて PTA 臨時総会を実施した。PTA 会則、組織体制について議案を提出し、両校とも賛成多数により原案可決となった。

- (3) 引継ぎ資料の作成について報告する。

PTA 臨時総会にて可決された内容及び、これまでの部会で協議してきた内容を、統合後の三木中学校 PTA 本部へ引き継ぐための資料として「三木中学校 PTA 運営体制について」を作成した。この「三木中学校 PTA 運営体制について」の完成をもって PTA 部会の終了とした。

PTA 部会としての報告は以上であるが、教育委員会へお願いがある。統合準備委員会開催後には、統合準備委員会だよりや議事録作成のため、部会長への校正依頼がある。教育委員会が作成した原案は何度も発言の趣旨と異なる頓珍漢なものとなっており、最後ぐらい発言の趣旨に沿った原稿を作成していただくようお願いする。

また、この不出来な内容の校正を私の勤務時間内に作業させられたこともある。私は無償ボランティアであり、勤務時間に作業させることは2度とないようにしていただきたい。よろしく願います。

(委員長)

意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは、引き続き学校運営部会の報告をお願いします。

(3) 学校運営部会

(部会長)

学校運営部会から報告する。

今週末の交流会については、実際にバスを走らせ、星陽中学校1・2年生が登校から下校までの1日を三木中学校で過ごす計画である。星陽中学校の生徒が三木中学校の1、2年の各クラスに4～6名ずつ入り三木中学校の生活を1日体験することを通して、統合に向けた課題を検証し、以降の対応策へと活かしていく。すでに授業の進度など教科担当による情報共有を行っている。

なお、まん延防止等重点措置期間が延長されており、感染防止対策を十分講じたうえで実施する。

続いて、校則や部活動、安全指導などについて確認するとともに、変更点について細部まで4月からの学校運営について協議した。

3月25日(金)の星陽中学校からの備品移送(引越し)に向け、備品や搬入場所の確認などの打ち合わせを行った。

統合へ向け、テニスコート1面、バス転回場、バス進入路における白線(横断歩道、歩車分離)、星陽中学校メモリアルルーム(仮称)等の環境整備が進んでいる。

生徒も新しい友達・新しい学校のスタートを楽しみにしている。生徒会の方も、星陽中学校の子と手を取り合って新しい三木中学校を創っていこうと決意を持っている。

(委員長)

意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは、引き続き通学・安全部会の報告をお願いします。

(4) 通学・安全部会

(部会長)

通学・安全部会から報告する。3月初旬に最終回となる第9回通学・安全部会を書面にて開催した。

これまでの統合準備委員会だよりに「市教育委員会への提案事項」として記載されていた事項について、お手元の資料の10事項が決定事項となったことを確認した。統合準備委員会だよりに記載されている事項であるので、項目のみ報告する。

- (1) バス通学対象地区について
- (2) 委託バスによる通学について
- (3) バスの転回及びバスを待つ時間を過ごす場所について
- (4) 土日、夏休み等の長期休業日のバス運行について
- (5) バスルートについて
- (6) 現段階での登校時のバス運行予定時刻について
- (7) 冬場の部活動時間が短い時期の下校バスについて
- (8) 通学バス乗降所及びバス停看板について
- (9) 個別の都合による路線バス使用時のバス代及び警報時のバス運行対応について
- (10) 春休みの部活動へのバス運行について

なお、これまでの「統合準備委員会だより」でも報告してきているので、今日の統合準備委員会の協議をまとめるたよりには、再度記載する必要はないと考える。ご了承願う。

これまで通学・安全部会を開催していく中で部会員の皆様には大変なご尽力・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

(委員長)

意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは、事務局から他にあるか。

(事務局)

特になし。

(委員長)

その他、ご意見いかがか。

(委員)

この統合準備委員会とは直接関係の無いことだが、両中学校保護者4名を代表して報告したいことがある。

統合準備委員として活動してき、中学校に申し入れしたい事があり、1月下旬に中学校へ要望書を提出した。

中学校からはほとんどの項目について、誠意ある前向きな回答を頂きましたことに、この場をお借りし感謝申し上げます。

回答いただいた内容については、すでに実行していただいているものもあるが、今後も引き続き、実行へ向け、ご尽力いただくよう宜しく申し上げます。

(委員長)

他にご意見等ないか。

【質問等なし】

4 その他

(委員長)

令和4年4月、いよいよ統合するにあたり、統合準備委員会は今回を持って終了となる節目の会となる。そこで、教育長からご挨拶をいただきたく思う。

(教育長)

今回、委員会に初めて出席する。

第8回を迎えるこの統合準備委員会にご参加いただき、感謝申し上げます。

令和2年7月に委員会を発足し、約2年にわたり、様々な協議を重ねていただいた。おかげを持ち、いよいよ統合を目前に控える時期となった。委員長をはじめ、副委員長、委員の皆様には様々なご協力・ご尽力を賜り、厚く感謝申し上げます。

先日、星陽中学校閉校式典に参加し、ぬぐい切れぬ寂しさを感じた。しか

しながら、非常に心温まる故郷への思いも伝わってきた。その中でも前を向いて、一步踏み出そうとする生徒たちの姿を見て、学校再編を進めてきた教育委員会として身が引き締まる思いであった。

委員の皆様は、準備委員会の全体会に加え、部会にも所属いただき、子どもたちを中心に据え、具体的な準備について検討を重ねていただいた。

総務部会では、星陽中学校の伝統や学校文化に思いを寄せつつ、学校名、校歌や制服等について、スピーディに方向性を打ち出していただいた。また、新たな学校への前向きな気持ちを大切に、丁寧に部会を進行していただいた。

PTA 部会では、合意形成を図りながら慎重に部会を進行していただいた。PTA 会則等の改正、臨時総会の実施、引継ぎ資料作成等、2つの異なる PTA 組織を1つにまとめ上げるとともに、より良い新組織に創り上げていただいた。

学校運営部会では、生徒の学校生活が円滑に始められるよう各教科、校務分掌ごとに担当者会、合同授業、交流会、通学練習等を実施いただいた。

また、三木市内で一番大きな校区を持つ学校として生徒の安心・安全を第一に柔軟に対応していただいた。

通学・安全部会では、生徒たちの安心・安全を第一に、保護者の皆様の要望や教育委員会の方向性も考慮しつつ、丁寧に合意形成を図り、方針をまとめあげていただいた。

いよいよ4月から、三木、細川、口吉川と3つの地域からなる新しい三木中学校がスタートする。これからの1年間は、学校経営もさることながら地域との関係の構築においても試行錯誤の連続となることが予想される。委員の皆様には今しばらく、温かく見守っていただきたい。生徒の様子を応援、後押ししていただきたいと願う。

これまでのご支援・ご協力誠にありがとうございました。

(委員長)

ご丁重なあいさつ、ありがとうございました。

それでは、次に副委員長、あいさつをお願いします。

(副委員長) あいさつ

皆様に一言、御礼と感謝を申し上げる。

思い起こせば、令和2年7月から1年と8か月、長いようで短い間、皆様お疲れ様でした。私は地域の代表として携わらせていただき、たくさんある感謝の中でも3点について述べたいと思う。

1点目は、教育委員会の皆様、辛い言葉・辛い時期がたくさんあったと思われるが、盾となりこの統合を進めていただいたことに感謝申し上げます。

2点目は、三木中学校校区の皆様、星陽中校区保護者、生徒ともども温かくお迎え入れてくださったことに感謝申し上げます。

3点目は、星陽中学校校区の皆様、思いはいろいろとあったと思われるが、ご理解をいただき、統合に向け進むことができたことに感謝申し上げます。

私事ではあるが、小学校・中学校・高等学校・大学・就職とどんどん家から遠く離れていってしまった一人娘が、孫を連れて帰ってきて、この三木中学校に通学できたら、嬉しく思う。

短い間ではあったが、皆さんとお出合いできたご縁を大事にしていこうと思う。結びになるが、本日ご出席の方のますますのご活躍、三木市の発展、未来を担う子ども達の成長を願い、挨拶とさせていただきます。

教育委員会の職員の皆様、学校の先生方、保護者の皆様、今後のことはよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(委員長)

ありがとうございました。

続いて、私からも一言あいさつ申し上げます。

(委員長) あいさつ

「もし、ウォシュレットの水が止まらなかったらどうする？」考えただけでもぞっとする。「自分の家でなく、公民館や駅のトイレだったら？」滅多におこることではないが、全く起こらないとは言い切れない。

私たちは星陽中学校と三木中学校の統合について話し合ってきた。「こうすれば子ども達が喜ぶ」「こうすれば子ども達のためになるだろう」と思いやってきた1年8か月。すべての「もしも」に応えられたわけではない。想像もしなかった「もしも」が、起こらないとは限らない。

実際に統合し学校を運営していく中で、不具合が生じてくることもある。その時、その時々で、より良い方策を講じて対応していけば良いと考える。

本日をもって、星陽・三木中学校区統合準備委員会は解散するが、明日からは「ちょっと違うトゥモロー」で取り組まれることを願う。

各部会長の皆様と委員の皆様のご理解とご協力を頂戴し、ここまでやっていくことができた。本当にお世話になり、感謝申し上げます。教育委員会の皆様のご指導にも深く感謝する。誠にありがとうございました。

(事務局)

これで、星陽・三木中学校区統合準備委員会を閉会とする。ありがとうございました。